

週刊 タバコの正体

第10話

先週は「歯の衛生週間」だった事を知っていたでしょうか。毎年6月4日～10日は、歯の衛生に関する正しい知識の普及啓発を行うことになっています。

健康を保ち、命を支えるのは食べる事から始まります。そして、ちゃんと食べるには健康な“歯”が必要です。ところが、口の中は自分の目で見えないので、多くの人は歯の健康状態について無関心になりがちです。その上にタバコを吸いだせば歯と歯茎は、そうとう過酷な環境にさらされます。

大切な歯をこんなに痛めつける事になるのに、タバコを吸うなんて、考えられへんですよ。

産業デザイン科 奥田 恭久

喫煙と歯周病

ニコチンの血管収縮作用によって歯肉がロール状肥厚をおこしている。



健康な歯肉

歯周病



長期喫煙者の歯肉

歯周組織の免疫抵抗力が低下してくるので、歯肉が退縮し歯槽骨の吸収も高度に現れる。

着色歯



タールによる着色

タールなどによる着色で、見た目が悪くなったり、プラークが付きやすくなる。また、口臭の原因にもなる。

奈良県歯科医師会ホームページから



ヘビースモーカーの歯肉

ブラッシングは比較的良く、プラークが少ないにも関わらず歯槽骨の吸収が大きい。ポケットが深く歯の動揺もあるのが、喫煙者の歯周病の特徴である。